

新たな

防災気象情報

令和8年5月29日から、気象庁の防災気象情報が新しくなりました。これまでバラバラだった大雨・河川氾濫・土砂災害・高潮の情報が、災害ごとに異なる表現ではなく、レベルで統一した表現に変更され、危険度がより分かりやすくなりました。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海面上昇や波の 打ち上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
〈警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！〉					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、 避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ル ート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

PICK UP 避難行動のポイント

- 市町村から避難指示などが出た場合……危険な場所から速やかに避難してください。
- 市町村から避難情報が出ていなくても…**警戒レベル3・4相当の防災気象情報が発表されたら要注意**です。インターネットで「キキクル(危険度分布)」や河川の水位を確認し、危険な場所にいる場合は、自ら早めに安全を確保しましょう。

詳しくはこちら
(気象庁HP)防災について学びたい方に
宮城県防災eラーニング講座

防災の基礎知識を学べる動画を配信中です！スマホやパソコンから、いつでもお好きな時間に、ご自身のペースで気軽に学ぶことができます。

詳しくは
こちら申し込み
はこちら

今だけ みやぎポイントをプレゼント！

期 間 ~ 12月31日🎁まで

対 象 講座を受講し、修了テストに合格した方
(1000人上限)ポイント 1人あたり**500**ポイント

応 募 講座を受講後、修了テストに回答

最新の情報を知りたい方に
宮城県防災情報ポータル

防災に関する情報をまとめて確認できます。

- 防災気象情報や地震・津波などの災害情報
- 市町村の発令する避難に関する情報
- 災害対策本部からの情報
- 電話・通信・ライフライン機関などへのリンク

詳しくは
こちら

今こそ見直したい、災害への備え

命を守る防災術

突然の自然災害から自分や大切な人を守るためには、日頃の備えが重要です。いま一度、自宅の備蓄品や避難行動・避難場所について、見直してみませんか。「備える」ことが、今日からできる防災の取り組みです。

🏠 今日からできる！日頃の備え

📦 災害時に必要な備蓄品

☑️ 飲料水

1人一日3リットルが目安



☑️ 食料品

最低3日分、
推奨は1週間分

☑️ 生活用品

ティッシュ、
カセットコンロ、
ごみ袋、携帯トイレ など

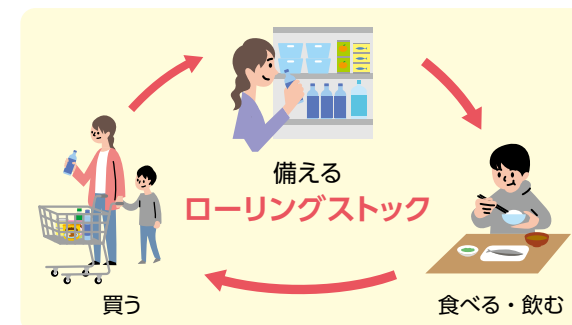
☑️ 便利品

懐中電灯、
モバイルバッテリー、
防寒着 など

🔄 フェーズフリーを实践

「フェーズフリー」とは、普段から使っているものを、日常時だけでなく災害時にも役立てるという考え方です。

日持ちする食品を多めに買い置きし、
古いものから消費して買い足す
「ローリングストック」もその一つです！



👨‍👩‍👧 状況・家族構成に合わせて追加しよう！

高齢者があるご家族



✓薬

✓お薬手帳

✓紙パンツ

など

乳幼児があるご家族



✓ミルク

✓離乳食

✓母子健康手帳

など

📍 避難場所・避難経路の確認

- 市町村のハザードマップ(自分が住んでいるエリア)
お住まいの市町村が作成したハザードマップを活用して災害のリスクや避難場所・避難経路を確認しましょう。
- 重なるハザードマップ(その他のエリア)
全国のさまざまな災害リスクをウェブの地図上で確認できます。

POINT

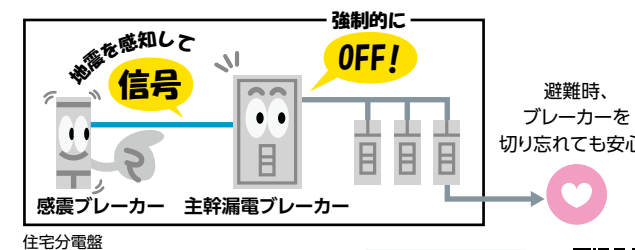
いざという時に「いつ、何をするか」をあらかじめ整理しておく「マイ・タイムライン」を作成し、スムーズな避難行動に役立てましょう。

市町村の
ハザードマップ重なる
ハザードマップ詳しくは
こちら

🔥 地震による火災への備え

地震による火災の半数以上は電気が原因です。

地震を感知すると、自動的にブレーカーを落とす
感震ブレーカーが有効な対策です。



🏠 災害発生時の行動

地震

- まずは自分の頭と身を守る。
- 倒壊・落下の恐れがあるものから離れる。
- 室内では、ドアや窓を開けて出口を確保する。



津波

- 津波警報や大津波警報が発表されたら、ためらわずに避難する。
- 警報が発表される前でも、地震の強い揺れや長い揺れを感じたら、すぐに海や川のそばから離れる。

